

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法 I		選択	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
間嶋 健	B312	ken.majima	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>人と環境の相互作用に関する理論、ソーシャルワークの過程、ソーシャルワークの実践モデルとアプローチについて理解することを目的とする。</p> <p><概要>人を取り巻く環境との相互作用の中で生きていることを認識したうえで、人と環境の両方に働きかけて支援するための考え方の枠組みについて理解を深めるため、教科書や資料をもとにグループワークを取り入れた講義を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート				
学習上の助言	授業中やリアクションペーパー、オフィスアワーを活用し、授業内容について理解を深めてほしい。多くの用語が出てくるので、混乱しないように学びを進めてほしい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目] /編:日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人と環境の交互作用に関する理論について理解し、説明することができる。			HSU(1)~(3)、HC(1)~(3)	
②	ソーシャルワークの過程について理解し、説明することができる。			HSU(1)~(4)、HC(1)~(3)	
③	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチについて理解し、説明することができる。			HSU(1)~(4)、HC(1)~(3)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、学習方法の説明)	演習	シラバスを精読する。	4	
2	自己覚知と傾聴面接	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
3	グループワークと共感	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
4	[ソーシャルワークの過程①] ケースの発見とエンゲージメント (インテーク) について学ぶ。	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
5	[ソーシャルワークの過程②] アセスメント (生態学モデル)	講義・演習	教科書の該当章を精読する。	4	
6	[ソーシャルワークの過程③] アセスメント (BPS モデル)	講義・演習		4	
7	[ソーシャルワークの過程④] アセスメント (ICF モデル)	講義・演習	教科書の該当章を精読する。	4	
8	[ソーシャルワークの過程⑤] プランニング (介護保険①)	講義・演習		4	
9	[ソーシャルワークの過程⑥] プランニング (介護保険②)	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
10	[ソーシャルワークの過程⑦] プランニング (介護保険③)	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
11	[ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①] モデルやアプローチ等の意味合い、治療モデル、ストレングスモデル、生活モデルについて学ぶ。	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
12	[ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②] 心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチ、課題中心アプローチについて学ぶ。	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
13	[ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ③] 行動変容アプローチ、認知アプローチ、危機介入アプローチについて学ぶ。	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
14	[ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ④] エンパワメント・ナラティブ・解決志向アプローチについて学ぶ。	演習	教科書の該当章を精読する。	4	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

15	[ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑤] その他のアプローチについて学ぶ。	演習	教科書の該当章を精読する。	4			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	20	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	0	20	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験を実施し、記述式および選択式の問題を出題する。行動目標①～③について総合的な達成度を判断できるよう出題し、評価する。	正答や模範解答を Teams で公表する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループワークや演習課題の発表内容を評価する。	発表時に教員からフィードバックする。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業内容の理解や取り組み状況等を確認し、評価する。	次回授業時にフィードバックを行う。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 21 年の実践経験を有する。						
実践的授業の内容	教員自身の実務経験にもとづき、対人援助職として必要な価値・知識・技術を教授する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士・精神保健福祉士資格取得希望者は必ず履修すること。 受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 生成 AI の使用については、課題に応じて随時教員より使用/不使用の指示をする。 毎回の授業で PC を使用するので必ず持参すること。 今後の感染症の社会情勢によって、シラバスの変更が行われることがある。 						